

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月9日

【四半期会計期間】 第70期第3四半期
(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

【会社名】 いちよし証券株式会社

【英訳名】 Ichiyoshi Securities Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役(兼)代表執行役社長 山崎 泰明

【本店の所在の場所】 東京都中央区八丁堀二丁目14番1号

【電話番号】 東京(03)3555-6210(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 財務・企画担当 持田 清孝

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八丁堀二丁目14番1号

【電話番号】 東京(03)3555-6210(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 財務・企画担当 持田 清孝

【縦覧に供する場所】 大阪支店
(大阪市中央区高麗橋三丁目1番3号)

岡山支店
(岡山市北区内山下一丁目1番5号)

神戸支店
(神戸市中央区加納町六丁目6番1号)

横浜支店
(横浜市西区南幸二丁目20番5号)

千葉支店
(千葉市中央区新町1番地20)

名古屋支店
(名古屋市中区栄三丁目1番26号)

株式会社 東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社 大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年2月10日に提出いたしました第70期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) 財政状態の分析

第3 提出会社の状況

3 業務の状況

(3) 自己資本規制比率

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、現金・預金及び信用取引貸付金等の減少により324億2百万円（前連結会計年度末比9.0%減）となり、負債合計は、信用取引借入金等の減少により92億54百万円（同15.4%減）となりました。その結果、純資産は231億48百万円（同6.2%減）となり、自己資本比率は71.2%となりました。また、当社の自己資本規制比率は、450.8%となりました。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、現金・預金及び信用取引貸付金等の減少により324億2百万円（前連結会計年度末比9.0%減）となり、負債合計は、信用取引借入金等の減少により92億54百万円（同15.4%減）となりました。その結果、純資産は231億48百万円（同6.2%減）となり、自己資本比率は71.2%となりました。また、当社の自己資本規制比率は、445.5%となりました。

第3 【提出会社の状況】

3 【業務の状況】

(3) 自己資本規制比率

(訂正前)

基本的項目		前第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
	(百万円) (A)	26,148	24,792
補完的項目	その他有価証券評価 差額金(評価益)等 (百万円)	1,813	1,811
	金融商品取引責任準備金等 (百万円)	98	102
	一般貸倒引当金(百万円)	2	2
	計 (百万円) (B)	1,712	1,706
控除資産	(百万円) (C)	7,579	7,368
固定化されて いない自己資本	(A) + (B) - (C) (百万円) (D)	16,856	15,718
リスク相当額	市場リスク相当額 (百万円)	71	59
	取引先リスク相当額 (百万円)	<u>161</u>	<u>178</u>
	基礎的リスク相当額 (百万円)	3,384	3,248
	計 (百万円) (E)	<u>3,617</u>	<u>3,486</u>
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100(%)	<u>465.9</u>	<u>450.8</u>

(注) 上記は金融商品取引法第46条の6第1項の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」の定めにより、決算数値をもとに算出したものであります。

当第3四半期累計期間の市場リスク相当額の月末平均額は94百万円、月末最大額は281百万円、取引先リスク相当額の月末平均額は211百万円、月末最大額は234百万円であります。

(訂正後)

基本的項目		前第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
	(百万円) (A)	26,148	24,792
補完的項目	その他有価証券評価 差額金(評価益)等 (百万円)	1,813	1,811
	金融商品取引責任準備金等 (百万円)	98	102
	一般貸倒引当金(百万円)	2	2
	計 (百万円) (B)	1,712	1,706
控除資産	(百万円) (C)	7,579	7,368
固定化されて いない自己資本	(A) + (B) - (C) (百万円) (D)	16,856	15,718
リスク相当額	市場リスク相当額 (百万円)	71	59
	取引先リスク相当額 (百万円)	<u>208</u>	<u>220</u>
	基礎的リスク相当額 (百万円)	3,384	3,248
	計 (百万円) (E)	<u>3,664</u>	<u>3,528</u>
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100(%)	<u>459.9</u>	<u>445.5</u>

(注) 上記は金融商品取引法第46条の6第1項の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」の定めにより、決算数値をもとに算出したものであります。

当第3四半期累計期間の市場リスク相当額の月末平均額は94百万円、月末最大額は281百万円、取引先リスク相当額の月末平均額は254百万円、月末最大額は288百万円であります。